

## 査読の御礼

山梨医科学雑誌 30 巻（2015 年）に投稿された論文の査読をお願いした方々です。ご多忙中にもかかわらず、熱心なご査読、誠にありがとうございました。（五十音順、敬称略）

大野 伸 一  
手塚 英 夫

木内 博 之  
藤井 秀 樹

杉田 完 爾  
松原 寛 知

## 編集後記

編集の不幸で発刊が遅れましたことをお詫び申し上げます。

今号は教授就任特別寄稿 1 編、総説 1 編、原著 1 編、医学会記事の構成です。

特別寄稿は、放射線科大西教授から、患者さん中心のがん診療を目指して、最新の放射線治療が高精度で低侵襲な方法へ進化してきていることのわかりやすい解説をいただきました。当初は総説の予定でしたが、ご自身の研究・診療歴を含め、総合的なものでしたので、この範疇に変更させていただきました。

総説は、免疫学講座所属のライフサイエンス特進学生の間間さんから、敗血症に関する明快な解説です。菌血症に関連する古くからの概念は変わり、ガイドラインから、病態や治療法、今後の課題まで、簡潔にまとめられています。

原著は、放射線科富永先生から、非小細胞肺癌に対する定位照射治療の予後予測について核医学的評価法 TI-SPECT と FDG-PET を比較した意欲的な論文です。結論として、局所制御については TI-SPECT で予測可能であるとの結論が示されていて、英文であるところから反響が期待されます。

今回の編集を担当して、著者と査読者の先生、編集担当者の三者が切磋琢磨して、本当に良い著作、論文を作り上げようと努力することが YMJ の価値を高めることにつながると感じました。また編集委員会事務が関与する本格的な英文校正は、今号の原著が初めてで、得るところが大きいと感じました。

スクールジャーナルでも、ネットに公開されている以上、良い著作であれば必ず注目する人がいること、英文の場合はさらに国際的にもその範囲が広がると信じております。

そのために大切なことのひとつとして、どうタイトルをつけるかがあると思います。言いたいことを短い言葉で適切にどう表現するかが求められるのではないのでしょうか。積み上げた研究成果や考え方が生きると、また正しい評価が得られるよう、丁寧に当たってゆきたいと考えております。

（手塚英夫、藤井秀樹）

---

山梨医科学雑誌 第 30 巻 第 2 号  
平成 27 年 11 月 13 日

編集・発行 山梨大学医学会  
〒 409-3898 山梨県中央市下河東 1110 番地  
山梨大学内 Tel. 055-273-1111 (内) 2242

印刷所 株式会社 東京プレス  
〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-18 3F  
Tel. 03-5982-9291